

## サンプルデータ(大宮国道事務所管内)の分析結果について

### 1. 金属片の付着場所

#### ① ボルト (n=39) 件数

ガードレールの設置位置	付着状態			総計
	順方向	逆方向	突出	
中央帯・車道側	9	0	1	10
路側・車道側	22	3	4	29
総計	31	3	5	39

・金属片の付着向きは、順方向が多く更に路側・車道側で多く発生している

#### ② 継ぎ目 (n=6) 件数

ガードレールの設置位置	付着状態			総計
	順方向	逆方向	突出	
中央帯・車道側	0	0	0	0
路側・車道側	1	2	3	6
総計	1	2	3	6

#### ③ 端部 (n=12) 件数

ガードレールの設置位置	付着状態			総計
	順方向	逆方向	突出	
中央帯・車道側	1	0	0	1
路側・車道側	9	2	0	11
総計	10	2	0	12

※ 中央帯、路側とも車道側のみ(従って、歩道側は0件)

### 2. 金属片の特徴

#### ① 長さ (n=52)

	大	中	小
割合	2%	36%	62%

大:長辺が20cm以上  
中:長辺が10cm以上、20cm未満  
小:長辺が10cm未満

#### ② 形状 (n=57)

	三角	四角	棒状
割合	91%	7%	2%

・金属片のほとんどが三角形状であった

#### ③ 材質 (n=58)

	鉄
割合	100%

・金属片のすべてが鉄製であった  
(成分分析の結果等に基づき正確に鉄と判明したものではない)

#### ④ 肉厚 (n=51)

	0.2mm	0.5mm	1.0mm	2.0mm
割合	8%	35%	55%	2%

(肉厚は参考値であり、計測方法により多少の誤差を含む)

#### ⑤ 錆びの有無 (n=57)

	有	無
割合	100%	0

・金属片のすべてに錆びの発生が確認された

#### ⑥ 塗装の有無 (n=49)

	有	無
割合	31%	69%

### 3. 金属片の付着状況

#### ① 路面から金属片までの高さ (n=54)

	60cm未満	60cm	70cm	80cm
割合	7%	20%	6%	67%

・金属片の付着は、路面から80cmのところ特に多く発生している

4. 金属片が付着していた防護柵の状態

① こすった・ぶつかった形跡の有無 (n=57)

	有	無
割合	82%	18%

・金属片が付着した部分の8割以上の箇所接触の形跡があった

② ボルト頭の形状 (n=39)

	丸い	角がある
割合	100%	0%

・金属片が付着したボルト頭は、すべて丸い形状であった

③ 防護柵の断面形状位置 (n=58)

	端部		継ぎ目		ボルト	
	凸部	凹部	凸部	凹部	凸部	凹部
割合	21%	0%	11%	0%	68%	0%

④ 支柱間隔 (n=58)

	2m	4m
割合	59%	41%

⑤ デリニュータ等、道路付属物の有無 (n=58)

	無
割合	100%

・この区間ではデリニュータ等、道路付属物の設置はされていない

⑥ 地覆の有無 (n=58)

	有	無
割合	33%	67%

⑦ ガードレールの順目・逆目 (n=18)

	順目	逆目
継ぎ目	33%	0%
端部	6%	61%

5. 道路状況と周辺状況

① 道路の区分 (n=58)

	本線	側道
割合	97%	3%

② 車線数 (n=58)

	2車線	4車線	6車線
割合	47%	48%	5%

③ 歩道の有無 (n=58)

	有	無
割合	64%	36%

④ 道路線形別 (n=58)

	直線	カーブ
割合	93%	7%

・カーブはすべて(4件)ボルト部分に金属片が付着している

⑤ 中央分離帯の有無別 (n=58)

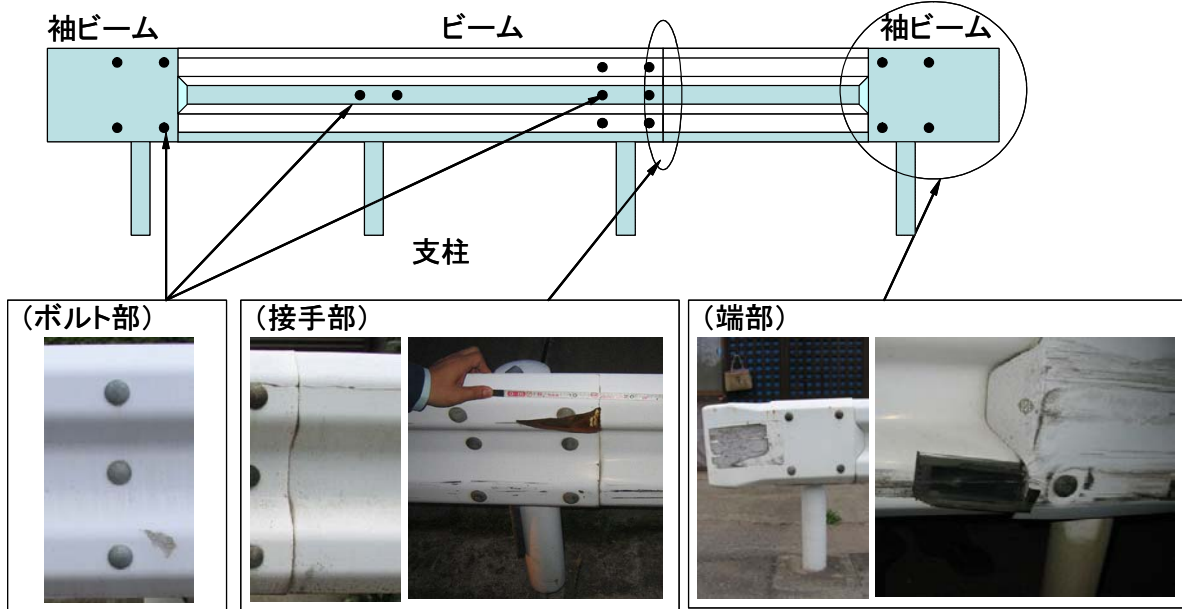
	2車線		4車線		6車線	
	有	無	有	無	有	無
中央帯	3%	0%	16%	0%	0%	0%
路側	3%	40%	31%	2%	5%	0%

⑥ 沿道状況 (n=58)

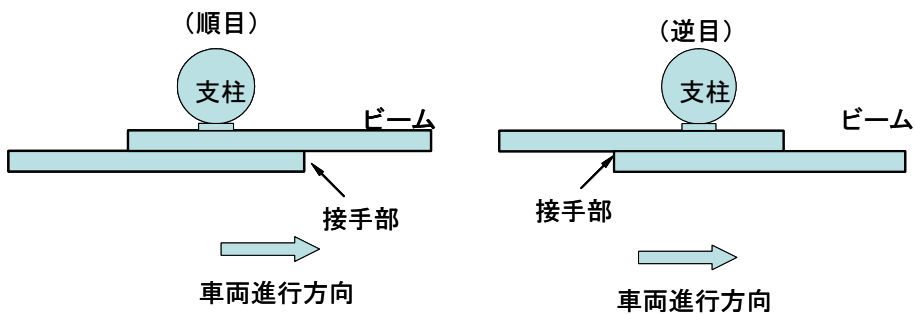
	市街地	田園	その他
割合	59%	34%	7%

## 基本的な言語の定義

金属片が付属する場所「ボルト部」、「接手部」、「端部」の定義



ガードレールの接手部「順目」、「逆目」の定義



金属片の付着形態「順方向」、「逆方向」、「突出」の定義

